

発行所 佐賀県鳥栖市宿町1118番地
〒841 鳥栖市役所
(電話 09428③3111)

とす市報

1月1日号

No 485

(昭和57年12月27日発行)

〈市の人口〉 (昭和57年12月1日現在)

区 分	住民基本台帳数		世帯数	
	男	女		
総 数	(+30)	(+25)	(+5)	(+28)
	54,723	26,372	28,351	15,222

()は前月との比較



限りない明日へ伸びる

昭和58年の新春を迎え 皆様と共におよろこび申し上げます



国^①の内外における経済不況のほ、さらに深まるものと覚悟してかからねばなりません。国庫支出削減、市税収入の鈍化などによる市政の運営が極めて窮屈になっていることも事実です。低成長経済下の厳しい現実の中における対応への切り替えこそ急務であり、市においても事務改善などをはじめ財源の重点的

分に取り組んでいますが、今後ともさらに努力を致します。

しかしながら、この様な経済情勢下の時こそ、特に市民生活に直結するものや福祉事業などに関連する事業については、内容の低下を来さぬよう十分留意いたします。また、大型公共事業の施行については議会側のご意見を十分拝聴しながら、緩急、軽重の度合いを見極めて対処いたします。永いこと各位にお話かけていました田代中学校の移転改築工事も59年4月開校に向けて進捗中であり、旭小学校の移転改築につきましても60年4月開校を目標に58年から着工の運びになりました。さらに、老朽施設としてご心配かけていましたし尿処理施設は59年度完工を目標に57年度から一部着工いたしました。ご協力いただきました関係の皆様にお礼申し上げます。

また、国の事業である横断自動車道工事の推進に向けて、地権者を始め関係地区の世話役各位の大変なご心労により逐次、用地買収や工事が進められています。60年度開通予定に向けて一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

農業、商工業の皆さん、年を重ねるごとに経営悪化にご苦勞されていますが、ここは一番頑張ってお互いの協力と創意によって、不況の谷を乗り越えましょう。市も各関係機関と相携えてお手伝いを致します。鳥栖商工団地進出予定の各企業も58年度中にほとんど立地を終わります。さらに、流通用地については58年度完了を目標に隣接地2万7,000平方メートルの用地を接洽中です。

商工団地と鳥栖駅への立体交差道、駅前付近の市街地両開発、都市計画、下水道事業など大型公共事業を山積みしていますが、国県の支援を受けながら計画的に進めてまいります。

昨年7月開館いたしました市民文化会館・中央公民館の11月末までの利用者は、5万2,400人でした。文化向上のため、香り高い中央の芸術文化に接する機会を持つことは当然ですが、市民自身の手による活用を期待しています。

21世紀へ向けての新しい文化技術の地域社会創造を目指し、鳥栖・久留米テクノポリスの連合体が発足して基本構想の計画策定中ですが、いよいよ58年度中に

第1次テクノポリス建設指定地域が、国から指定される段階に入ります。また、本市のテクノポリス区として期待される鳥栖北部(柚木町、今町)の1帯については、将来にわたる開発の可能性と、その取り組みを計画するため、国の機関である地域振興整備公団の手によって、予備調査が開始されることになりました。市民各層のご協力をお願いします。

昨年11月24日、竜谷大学から「2年制短大、4年制大学の用地を鳥栖市内に求めたいので、協力をお願いしたい」旨の正式申し入れに接しました。地域の教育文化向上のため、これが実現に向けて議会側とも十分協議して、大学側の趣意に沿うよう努力したい考えです。

いろいろと述べましたが、市民生活の向上と市政の発展に、市民各位の一層のご協力をいただいて「ふるさと」鳥栖の振興に努力してまいります。

皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。また、新年のご挨拶といたします。

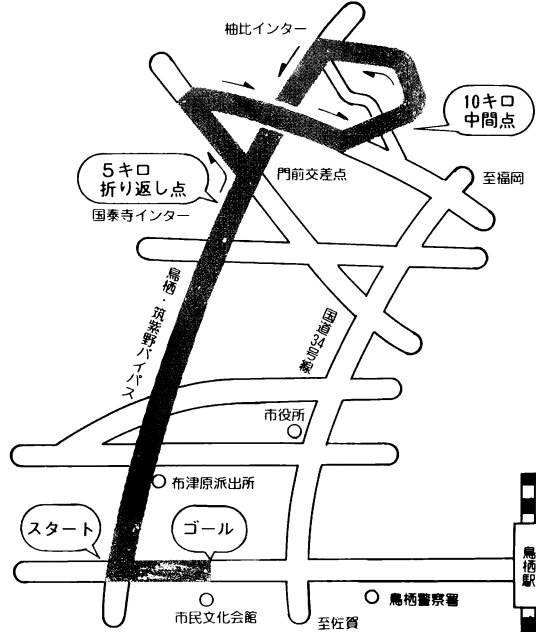
祝成人 10キロロードレース大会 (にご協力ください)

祝成人10キロロードレース大会が、1月15日祝正午から、図のコースで行われます。

この間、約1時間ほど関係使用道路で交通規制が行われますので、一時、交通渋滞や交通混雑などが発生するおそれがあります。よろしくご協力ください。

本大会も21回目を迎え、九州一円はもとより、遠く青森からの出場者もあり、年々、盛り上がりを見えています。

市民のみなさんの、あたたかいご声援をよろしくお願いします。



ジフテリア・百日せき 破傷風混合予防接種

市衛生課は、幼児の三種混合予防接種を次のとおり行います。該当者に必ず受けさせていただきます。

該当者 ●生後24か月から48か月未満までの幼児(1期) ●1期終了後12か月以上を経過した生後72か月未満の幼児(2期)

期日 1月13日(木)・鳥栖・鳥栖北地区

1月14日(金)・田代・基里・麗・旭地区

時間 午後1時半～同2時50分

会場 鳥栖北公民館(旧中央公民館)

注意 ●母子手帳は必ず持参してください ●当日は朝起きたらすぐ体温を計り、清潔なはだを着せてください ●過去1年以内にけいれん(ひきつけ)を起こした人や1か月以内に麻しん、BCGの予防接種を受けた人および1か月以内にはしかや風しん、水ぼうそう、おたふくかぜにかかった人などは、今回接種できません ●そのほか詳しいことは、同課予防係(☎3111内線282)へお問い合わせください

胃の検診

とき 1月20日(木)受け付けは午前9時から同9時半まで

ところ 市役所2階第5会議室

料金 750円(検診当日持参のこと)

申し込み 1月13日(木)までに市衛生課

予防係(☎3111内線284)へどうぞ

水道修繕当番店

水道の故障修繕は管工事組合(東町2丁目☎5038)へ。ただし、午後5時以降と日曜日、祝日は次の当番店へお申込みください。

1月4日～31日 **鳥栖設備**
(真木町☎3177)

消防出初め式

—1月9日市役所前広場—

58年の消防出初め式は、1月9日(日)午前8時半から市役所前広場で行います。

これに先立ち、午前8時から消防団員と消防車両、鳥栖工高 brassバンドなど約400名のみなさんが、鳥栖駅前から会場まで市中行進を行います。市民のみなさんの激励をお願いします。

出初め式では、入場行進や分列行進、閲閲、放水試験(五色放水)、式典などを行い、消防団員の士気高揚と消防力の充実・強化を期し、市民のみなさんに「火の用心」を呼びかけることにしています。

年末年始は 24時間診療

聖マリア病院(久留米市)では、年末年始の救急医療業務を、例年のとおり12月29日(木)から1月3日(月)までの6日間実施します。次のことに注意してご利用ください。

▶内科、新生児科、産婦人科、外科の救急患者については、24時間いつでも診察、処置、手術、出産に応じます。ただし、入院を希望する場合や、その他の各料の診療については、一応電話連絡をしてください。

▶連絡先…聖マリア病院(久留米市津福本町422)☎0942☎3322(代表)、☎8000(救急専用)、☎1621(新生児専用)、☎1466(腎センター)

成人式は 簡素な服装で

—1月15日市民文化会館—

1月15日(祝)は、成人の日です。市教育委員会では、成人式を当日午前10時半から市民文化会館(宿町)で行います。

すでに、各町区の嘱託員(区長)さんを通じて案内状を送付していますが、受け付けは午前9時半から始まります。式には簡素な服装でご出席ください。

今年、成人式をむかえるのは、男子331人、女子355人の合計686人(12月8日現在)で、昭和37年4月2日から同38年4月1日までに生まれたみなさんです。

図書館から

1月の移動図書館

- 19日(水)○儀徳町住宅(10:00～10:20) ○西田町(10:30～11:30) ○村田町公民館(13:20～13:40) ○一本杉住宅(14:00～14:20) ○平田町(14:30～15:00) ○山都町(15:10～15:30) ○山浦団地(15:40～16:20)
- 20日(木)○浅井町(10:00～10:30) ○加藤町(10:40～11:30) ○田代町住宅(13:20～13:40) ○姫方町(14:00～14:30) ○飯田町(14:40～15:00) ○曾根崎町(15:20～16:00)
- 21日(金)○鳥栖南部団地(10:00～10:40) ○高田町(13:00～13:40) ○藤木町(14:00～15:00) ○下野町(15:20～16:20)

催しもの

新年登山 (市岳連主催)

とき 1月23日(日)
登る山 霧氷の由布岳
会員 大人3,000円、子供2,000円
申し込み 市役所山岳部(☎3111内線255)へどうぞ

鳥栖南北地区新年歩こう大会

鳥栖南と鳥栖北地区体育協会は、合同で次のとおり新年歩こう大会を行います。家族そろってご参加ください。

とき 1月3日(月)午前9時出発
(雨天の場合は9日に順延します)
集合 午前8時半に、南地区は元町運動広場へ、北地区は市役所前へ行く先 朝日山

ポットを利用した植物のふやしかた

花とみどりの推進協議会と市環境課では、園芸実演会を次のとおり無料で開きます。多数おいでください。

とき 1月13日(木)午前9時半から正午まで
ところ 市役所2階第5会議室
※なお、緑の相談室は同日と、27日(木の)午後3時まで行います。

危険物取扱者の 保安講習会

鳥栖消防防災課は、消防法の規定により危険物の取扱作業の保安に関する講習を、次のとおり行います。

とき 2月8日(内)午前10時
ところ 鳥栖基山農協会館
対象者 危険物の取扱作業に従事し、53年12月31日までに免状を取得した人と保安講習を受けた人です
受け付け 1月17日(月)～同21日(金)
※受講申し込み方法など詳しいことは、鳥栖・三養基地区消防署第2予防係(☎2870)または、鳥栖消防防災課(☎0952☎2211)へお問い合わせください。

1月の納税

市 県 民 税 (4期分)

国民健康保険税 (8期分)
納期限までにお忘れなく

※納税は、市内の銀行や農協、郵便局などの金融機関でどうぞ

実現させよう 21世紀の未来都市 鳥栖・久留米テクノポリス



テクノポリス（高度技術集積都市）建設をめざして、佐賀、福岡両県の支援のもとに、いま開発構想づくりが進められています。

21世紀まで、あと17年。鉄、石油に代表される今世紀の工業発展は、資源の限界と科学の進歩の前に、新しい時代を迎えようとしています。また、バイオテクノロジー（生命工学）の発達は、農業面においても新しい分野を開いてきました。

〈次代の先端を担う〉

通産省は、次世代における先端産業として

- ①航空機
- ②宇宙産業
- ③光産業
- ④バイオテクノロジー産業
- ⑤メディカル・エレクトロニクス（電子医療）
- ⑥産業用ロボット
- ⑦IC産業
- ⑧コンピュータ産業
- ⑨ワードプロセッサ
- ⑩金属系新素材産業
- ⑪ファインセラミックス
- ⑫医療品
- ⑬産業用機械
- ⑭ソフトウェア産業

の14業種を想定し、これらの業種の生産額は5年ごとに2倍程度の高い伸び率が



▲今後、開発が期待される鳥栖北部丘陵一帯

期待されるとしています。さらに、これらは広域交通網の発達と、労働力豊富要因として、地方立地の可能性が高いとされており、最近の情報では九州各地にも続々と立地されつつある状況です。

〈技術・文化立県を中心〉

多数の候補地から選ばれ、開発構想づくりへの第2段階指定を受けた、鳥栖・久留米テクノポリス圏も、いま九州大学大学院の駒宮教授を委員長とする専門委員を中心に、その基本的な方向づけについて検討が進められている最中です。

一方、佐賀県総合計画にも近く改訂されますが、80年代の県勢発展の方向づけとして「技術立県」「文化立県」を掲げ、

その実現の中心を、このテクノポリスに置いています。

鉄道、鳥栖ジャンクションで交わる高速道路を中心とした陸路交通網の整備は、福岡、北九州の大都市を背景に、本地域の地理的エネルギーの活用を、ますます求めて来るであります。

《基本構想の骨子》

(1)R. & D. (研究開発) コンプレックスの形成…福岡都市圏の既存集積を活用しつつ、これを拡充する方向で、鳥栖、久留米両市の都市機能と連結した、新しい研究開発センターの形成を図る。

(2)産業コンプレックスの形成…北九州における工業集積と、福岡地区の都市機

能集積を、この地域において統合させ、研究開発機能の形成段階に対応した先端技術産業の展開を図り、長期的には、バイオテクノロジー利用産業、新素材産業、高次システム産業などを展望する。このためには、まず、既存産業の高次加工化と、生産的、技術的連携により、新たな産業を誘発することから入る。

(3)両都市の整備…鳥栖、久留米両市街地の一体的整備を図る。

さらに、田園景観と調和を保ち、緑地を地域の骨格構造の1つの要素として位置づけ、市、町ごとの各テクノポリス区がそれぞれの個性を生かし、適性機能を分担、連結して、充実を図ることとしています。

《鳥栖北部を予備調査》

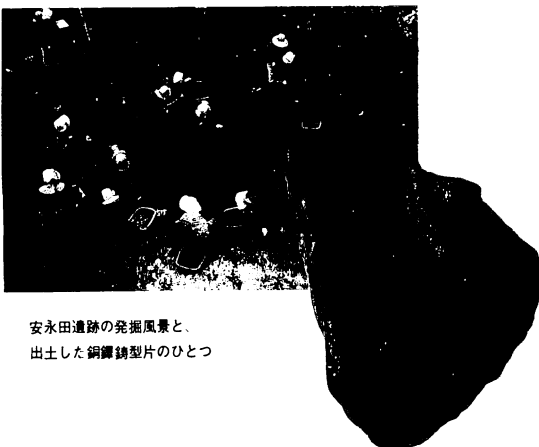
この開発構想は、58年3月頃までには固められ、国の審査を受けることになり。国の施策も立法措置を含めて、しだいに具体的になってきました。

本市についても、近く、国の機関である地域振興整備公団の手によって、鳥栖北部丘陵一帯の開発のための予備調査に入る予定です。

テクノポリスが本格的に動き出すまでには、時間がかかりますが、「次世代の若者たちが住み、働き、誇りと親しみの持てる街、鳥栖」を目標に、市民のみなさんのご支援をお願いします。

鳥栖の指定文化財

①安永田遺跡(国史跡指定)



安永田遺跡の発掘風景と、出土した銅鐸鑄型片のひとつ

弥生時代の日本は、近畿地方を中心とした「銅鐸文化圏」と北九州地方を中心とした「銅矛銅剣文化圏」に分かれて対立していたと考えられていましたが、54年度の柚比遺跡群範囲確認調査対象地の安永田遺跡で、住居跡より銅鐸鑄型片が発見されてから「銅鐸文化圏」「銅矛銅剣文化圏」の対立的な文化圏に関する問題を根本的に改めなければならなくなりました。

安永田遺跡は、柚比町字狹野、安永田一帯の標高48～55mに、弥生時代・古墳時代の住居跡・墳墓を中心として15㎡のひろがりをもつ大きな遺跡です。

銅鐸鑄型のもつ評価や問題点などにより、銅鐸鑄型片出土地点を含めた、柚比町字安永田454～458番の詳細な性格解明(工場の集落かどうか)と範囲確認(そのひろがり)のため、全面発掘調査を55、56年の2年間にわたって実施しました。調査の結果、旧地形は北から谷が入り

込んでおり、遺構は弥生時代中期後半～末の集落(住居跡38軒、土こう10基、溝など)が谷頭を取り囲む状態で西から東にひろがっています。谷頭の南側には、弥生時代中期初頭から中頃にかけてのかめ塚墓36基を確認しました。西側には、奈良時代の集落(住居跡11軒、土こう2基)がみられました。

青銅器鑄造に関連する遺物としては、銅鐸鑄型片5、銅矛鑄型片1とその未製品1個体分や、ふいごの羽口片1などがあります。また青銅器鑄造の傍証として、焼土と土器を定性分析して得られた銅分、錫分がありました。従って、安永田遺跡の銅鐸鑄型片が出土した地点は、青銅器鑄造そのものの製作から、鑄造までの一連の製作工程をもった工人の集落であることが明らかになり、弥生時代の金属工場の集落としては、初めての発見例となり、57年12月国史跡指定となりました。